

かけはし

2月号

SNSやっています!



Facebook Instagram LINE



JAグリーンはくい
新商品続々!

特集!





そ

令和5年度の生産に向けて
さい部会 総会



第40回JAはくいさい部会通常総会



最優秀生産者賞を受賞した保志場益光さん(左)

スイカと秋冬ダイコンを生産するJAはくいさい部会は1月31日、JA本店にて第48回通常総会を開きました。活動報告など全う議案が可決されました。

今年度の最優秀生産者賞には、羽咋市栗生町の保志場益光さんが選ばれました。保志場さんは台木となるカボチャ苗の品種を変えたことにより、適正な生育や栽培管理を行い、高品質なスイカを生産したことが評価されました。

保志場さんは「今年取り組んだ栽培管理を来年にもつなげて、高品質なスイカを作っていきたい」と意気込みました。功労賞には、栗生町の東海式さんが選ばれました。

部会は、生産者20戸が28・8畧で栽培。スイカは今年、計15万8640玉が出荷され、2億8千万円の売上となり、過去10年間で最高の売上となっています。

同部会の長濱恵司部会長は「より高品質な生産を目指して、令和5年度も「尽力賜りたい」と呼び掛けました。

特

宝達支店
殊詐欺防ぎ、JA職員に感謝状



感謝状を受け取った西井誠吾支店長(左)と金守裕加さん(右)

特殊詐欺被害を未然に防いだとして、JAはくい宝達支店の金守裕加さんが1月23日、羽咋警察署の川本盛光署長より感謝状を受けました。昨年12月16日の午後4時ごろ、来店した女性に金守さんが来店目的を聞くと、「介護保険の還付金の受け取りがあると電話があった」と答えたため、同支店の原田正行次長と連携して女性を説得し、被害を防ぎました。

同支店の西井誠吾支店長とともに表彰を受けた金守さんは、「12月に行われた防犯訓練が参考になった。詐欺を未然に防ぐことが出来て良かったです」と話しました。

強

JAグリーンはくい
盗、万引きに備える



消火器の使用方法を確認するようす (JAグリーンはくい)

JAグリーンはくいで1月6日、強盗や万引きに備えた防犯訓練を行いました。店舗スタッフや役職員も含め約15人が参加。訓練は防犯意識の向上を目的としています。

訓練は、模擬の包丁を持った犯人役の警察官が店内に押し入り脅迫し、現金を要求する想定で行われました。対応した職員は「来るとわかっていても声を出しづらい。この経験を活かしてお客様や自分の身を守る行動をしていきたい」と話しました。

この日は、防火訓練も同時に行われ、水消火器を使って消火器の使用方法を確認しました。

消費税込インボイス制度説明会



消費税インボイス制度説明会のようす
(JAはくい本店)

消費税インボイス制度の説明会が1月13日、JAはくい本店で行われました。説明会は、農家や産直会員に向けて行われ、37人が参加しました。消費税インボイス制度とは、令和5年10月から導入される新しい仕入税額控除の方式。この日は、JA石川県中央会の職員が訪れ、制度の概要について説明しました。

説明会は、対象者への周知やその後の登録手続きを促すことを目的としています。

支 援物資の運搬拠点に 厳しい寒さで断水

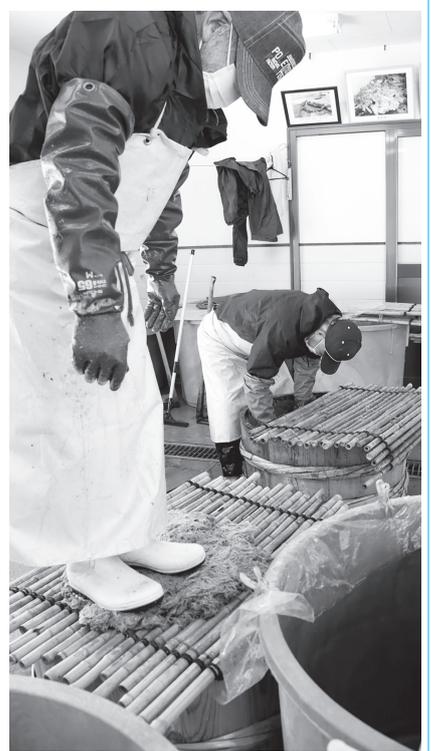


支援物資のペットボトルを受け入れました
(雁田倉庫)

羽中市では、1月26日に断水が発生し、JAはくいは、27、28日に支援物資の受入や配送の拠点として園芸総合集出荷場と雁田倉庫を提供しました。JAは2021年8月に羽中市と「災害時における施設使用及び物資の供給に関する協定」を締結しています。

羽中市や姉妹都市である群馬県藤岡市から支援物資が届き、園芸総合集出荷場にはペットボトルや給水袋など約1000箱が運び込まれ、雁田倉庫にはペットボトル1万1280箱(2リットル6本入り)が運び込まれました。

今月の表紙



2月号の表紙写真
足で踏んで汁を絞り出すようす
(宝達葛会館)

宝達志水町特産 「宝達葛」最盛期

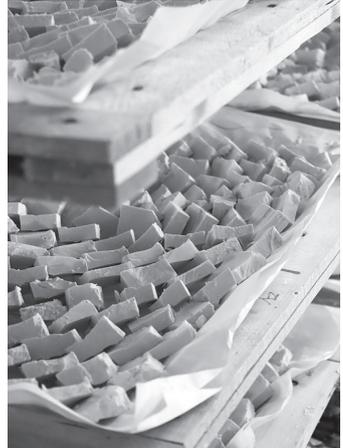
宝達志水町の宝達葛会館で「宝達葛」の寒仕込みが最盛期を迎えました。今年は、1月6日から仕込みが始まり、2月中旬まで続きます。宝達葛は、宝達志水町で450年以上の歴史があると言われ、宝達山の金鉱夫の疲労回復や整腸用として、作り始めたのが起源です。



足で踏み絞り出す



くずの根を機械で粉碎する



機械で粉碎した葛の根を宝達山の伏流水に浸してやわらかくし、足で踏んで絞り出すという昔ながらの技術を受け継いで作られています。絞り出した汁を自然乾燥させる



こしてデンプンを抽出

繰り返しこすことでデンプンを抽出し、2か月ほど自然乾燥。冷え込みが厳しくなるほど品質の良いものができると言います。

宝達葛生産者の会の佐藤勝治代表は「本来の食べ方で、お湯に溶かして食べるのが一番おすすめ。餡かけや和菓子などにも良い」と話しました。

JAグリーンはくいの新商品続々!

JAはくいでは、「国消国産」を応援する方法として、農産物直売所JAグリーンはくいを核とした地域活性化に取り組むとともに、地産地消や旬の農畜産物を食べることを呼び掛けています。ふれあい産直コーナーには、毎日とれたての野菜や加工品がたくさん並んでいます。



JAグリーンはくいは
皆さまに愛され続けて23年。
人気が続く理由は
なんといっても産直さんの
新鮮な旬のお野菜です♡

店長の
松下です!



ヤマチ醤油 (近岡屋醤油)

宝達志水町にある100年受け継がれてきた醤油。能登の恵みをふんだんに、丁寧に造られています。ご賞味あれ!



成城石井の珈琲豆 試飲コーナー

東京・大阪でファンが多い成城石井の珈琲豆。石川県で店舗販売しているのはココだけ! 試飲もできます♪



ハトムギ焼酎 『天女の涙』 もあります!

焼酎

天女の涙の蔵元、日本醗酵化成さんが作る「虎の涙8年」もあります!



店頭で販売する新田部会長(左) (JAグリーンはくい)

のと里山自然栽培部会
自然栽培野菜
召し上がれ

のと里山自然栽培部会が1月7日、JAグリーンはくいの店頭で炊き込みご飯やメツタ汁を販売しました。炊き込みご飯には、新田聡部会長が栽培するしいたけが使われ、メツタ汁には澤村悠行さんが育てた人参やさつまいも、白菜などを使用。隣接する「るるん・ち」が調理に協力しました。

新田部会長は「自然栽培を地元の人たちにもよく知ってもらうためにも、味わってもらいたい」と話しました。

この日は、JAグリーンはくいで初売りも行われ、ガラポン抽選会やLINEの抽選会などが行われました。



「神子原くわい」の給食を食べる児童たち
(邑知小学校)

神子原地区の伝統野菜「神子原くわい」を使った給食が1月30日、羽咋市内8つの小中学校でありました。小ぶりのクワイを素揚げし、鶏肉と一緒に炒めて甘酢で和えた「鶏肉とくわいの南蛮風」が振る舞われ、約1200人が味わいました。

邑知小学校では、「県内生産量の9割が神子原地区で作られている」「芽が出る縁起の良い食べ物」と放送で紹介。両親がクワイを栽培する2年生の柘田晴人さんは「田んぼに入って仕事をするのは大変そう。みんなにおいしいと言われてうれしい気持ち」と喜びました。

神子原くわい生産組合では現在、5戸が約58^{アール}で作付けしています。

収

樋川小学校 収穫祭

獲したもち米で餅つきを体験



餅つきを体験する児童(樋川小学校)

樋川小学校の全児童75人は2月5日、収穫祭で餅つき体験を行いました。同校は、県やJAなどが主催する「いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト事業」の体験校。餅つき体験は、新型コロナウイルスでの中止を経て3年ぶりの開催となりました。

餅は、昨年の10月上旬に同校の5年生が収穫したもち米「大正もち」を使用。ついた餅は、PTA役員や地域の方々があんこやきなこ、ゴマで味付けをし、パックに詰めて児童らに配布しました。

5年生の岩見彩都さんは「楽しかったから来年もまたしたい。家族で餅を食べるのが楽しみ」と話しました。この日は、餅つき体験の他に、かるた大会や百人一首も行われました。

JAはくい女性部

こめ油講習会でマヨネーズ作り

JAはくい女性部は1月26日、エコープマーク品の「こめ油」の商品講習会を開きました。製造する築野食品工業の大塚尚子さんを講師に迎え、JA



マヨネーズ作りを体験する参加者ら(JA本店)

本店と営農センターを会場に、計45人が参加しました。

エコープマーク品の「こめ油」は、国産の米ぬかから抽出・精製された植物油で、香ばしくカラット揚がり、冷めてもべたつきが少ないといえます。マヨネーズを作る実習では、各自が持参したボウルに卵黄と塩、酢を入れ、こめ油を少しずつ加えながら、泡だて器でよく混ぜて完成させました。

このほか、厚生産業の浅田哲也さんの指導のもと、「米こうじの甘酒」と「むしパンミックス」を使い、フライパンでりんごケーキを作りました。



JAはくい女性部

『こめ油』で 豆乳マヨを作ろう& フライパンでケーキ作り

タマゴ
不使用

日時：3月9日(木)

- ① 10:00 ~ 11:30
- ② 14:00 ~ 15:30

場所：JA本店 大会議室

対象：JA女性部の部員

※JA女性部の活動に興味がある地域の方もご参加いただけます。

定員：各回16人(参加費100円)

●フードプロセッサー・ハンドブレンダーをお持ちの方には、ご持参をお願いする場合があります。

【お申込み】

C S 推進室 ☎26-3301

組合員の声を聴く訪問活動を実施しました

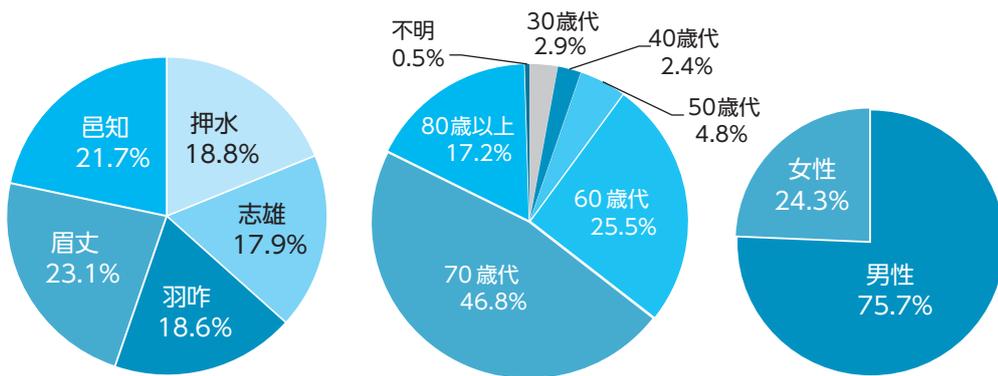
第1回 訪問活動(令和4年11月)の結果について

JAはくいは昨年11月、「第一回 組合員の声を聴く」訪問活動を実施しました。役職員106人が2人1組で組合員宅を訪問し、店舗統廃合後の新しい支店利用や、JAに対する意見・要望をお聞きしました。

今後も継続的に実施しながら、意見・要望等を事業運営に反映し、組合員の「営農」や「くらし」の向上、メンバーシップ強化を図ります。

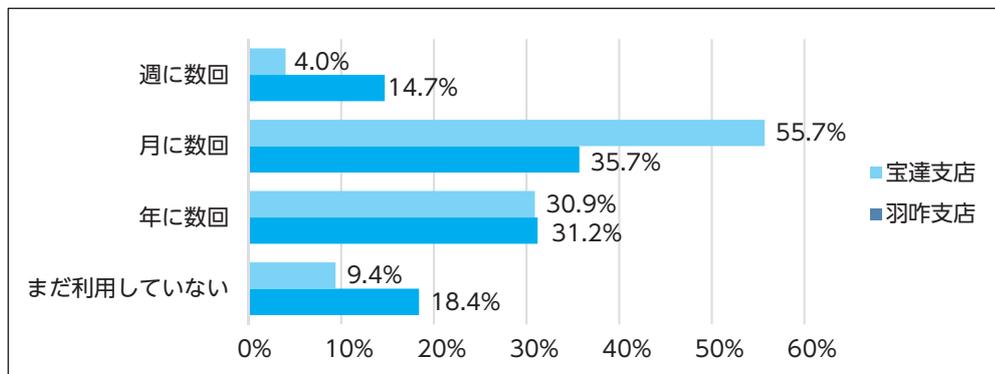


聞き取りアンケート回答者の属性



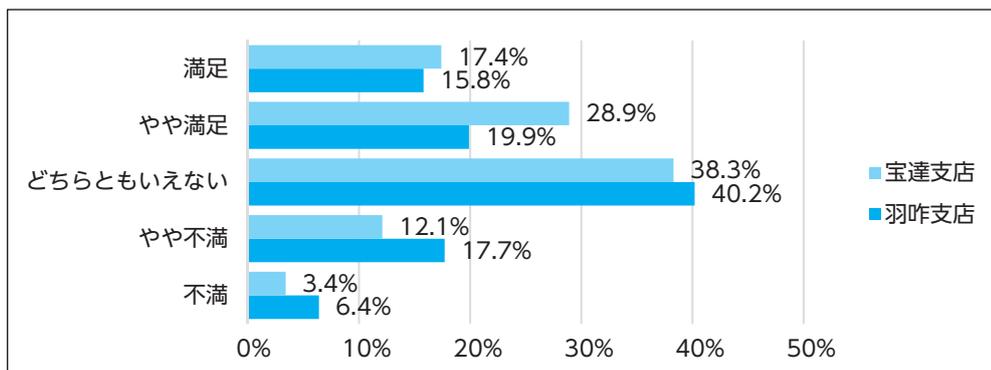
今回は、JAの事業利用に応じて付与される「総合ポイント」が年間500ポイント以上付与された組合員・約2千先のリストの中から、420先を訪問しました。

Q. 店舗統廃合後、新しい支店への【来店頻度】について教えてください



店舗統廃合から半年が経つなか、全体の15%が「まだ利用していない」と回答されました。また、既にご来店いただいた方からも「支店が遠くなり、以前に比べて来店頻度が減った」という声がありました。

Q. 店舗統廃合後、新しい支店の【満足度】について教えてください



全体の4割が「満足」「やや満足」とする一方で、2割の方が「不満」「やや不満」と回答されました。最寄りの支店が遠くなったことや、馴染みの店舗が無くなったことへの不満やご不安の声がありました。

寄せられた意見・要望と 今後の取り組みについて

一部抜粋して
ご紹介します。

●支店(共通)について

【意見】店舗統廃合により、最寄りの支店が遠くなったことで不便に感じる。

【回答】出向く体制を強化するため、渉外担当者の増員を図り、できる限りこれまでのサービスを落とさないよう訪問活動を徹底して参ります。

【意見】渉外担当者がいることをもっとPRして、利用しやすくしてほしい。

【回答】ご用件があれば最寄りの支店に遠慮なくご連絡ください。また、計画的な訪問活動により、組合員・利用者からのご意見・ご要望をお聞きするとともに、満足度向上に努めます。

【意見】旧支店にATMを設置してほしい。

【回答】他金融機関やコンビニ等の手数料無料となる提携ATMをご紹介させていただいております。ご理解とご協力をお願い致します。

【意見】昔に比べて窓口の対応が事務的で、親しみやすさ、農協らしさを感じにくい。

【回答】新店舗体制になり、口座番号の変更や通帳切り替え等の手続きで混雑し、事務的な対応となったことをお詫びいたします。親切丁寧な対応を心掛けます。

【意見】営農相談や営農関係の提出物など、支店でも対応できるようにしてほしい。

【回答】提出物については支店で対応させていただきますが、営農指導員(TAC)が常駐していないため、支店職員ではお答えできないような相談につきましては、後日、TACよりご連絡する等の対応とさせていただきます場合がございます。

【意見】地域に密着した支店運営を期待している。

【回答】支店行動計画の策定にあたり、地域貢献活動の一環として、グラウンドゴルフ大会や、園児や小中学生らによる体験農園(食農教育)を実施しております。また、支店だよりを発行し、支店活動や事業活動の周知を図ります。

●羽咋支店について

【意見】羽咋支店と本店の違いが分からず、どの窓口に行けばいいか迷った。

【回答】案内看板を設置しておりますが、分かりづらく申し訳ございません。支店では、受付発券機にて「①信用、②短期共済、③長期共済、④ご相談等」の4つの用件に分類してご案内しております。分かりづらき際には、職員にお声掛けください。

【意見】バローATMがなくなって不便に感じる。

【回答】バローATMを廃止し、駐車場が広く使用でき、建物内で待つことができる羽咋支店(本店)のATMコーナーを拡張し、1台増設(2台設置)しました。また、他金融機関やコンビニ等の提携ATMをご紹介し、不便さの

解消に努めます。

●宝達支店について

【意見】待ち合いの椅子と窓口の距離が近く、周囲が気になることがある。

【回答】ローカウンター対応となり、距離が近く感じると思いますが、親切丁寧な対応および個人情報等に配慮するとともに、的確な事務処理を心掛けて参ります。

●店舗統廃合について

【意見】不便になることは分かっていたこと。組合員の農協離れが心配だ。

【回答】店舗統廃合により、皆さまにはご迷惑をお掛けしており、誠に申し訳ございません。引き続き、地域農業と組合員の生活をお支えできるよう、サービスならびに情報の提供・発信に努めて参りますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【意見】遊休資産の進捗状況を聞きたい。

【回答】店舗統廃合による旧支店等については、広報誌等で

取得希望の確認を行っております。その他の不稼働資産についても売却等を進めておりますが、ご意見やご要望等がございましたら個別にご相談させていただきますので、総務部までお問い合わせください。

●金融共済部門

【意見】相続・終活が一番の関心ごと。定期的にセミナーなど開催してほしい。

【回答】大切な資産を相続するために、引き続き定期的に相続・終活セミナーを開催するとともに、気軽に相談できる体制を確立して参ります。

【意見】ネットバンクは、操作がわずらわしい。

【回答】セキュリティの関係で、一部ご面倒なこともございますが、お得で便利な機能をPRするとともに、ネットバンク教室を開催し、利用を促進していきたい考えです。

【意見】共済の加入内容を定期的に説明してほしい。

【回答】計画的な訪問活動を実践し、未訪問世帯の解消と訪問頻度を増やすことで、契約

内容の確認と共済金の請求漏れを解消するとともに、組合員・契約者とのコミュニケーションを強化するため「3Q（サンキュー）訪問活動」に取り組んでいます。

● 営農関連について

【意見】肥料高騰が今後も心配。JA独自対策も考えて。

【回答】国際情勢の影響による肥料価格の高騰は、今後も見通しが不透明です。単協レベルではなく、JAグループ全体としての対策を検討して参ります。

【意見】中小規模の農家に対しても、営農を継続できるように支援をお願いしたい。

【回答】経営規模を問わず、皆さまのご要望を伺い、支援強化に取り組めます。

【意見】押水ライスセンターの維持を期待する。

【回答】令和7年度に向け、アンケート等の調査結果をもとに、共乾施設再編整備の検討を進めており、適切な手順を経て、生産者の皆さまへご説明させていただきます。

【意見】営農部が旧志雄支店に移転し、遠くなって不便。

【回答】当JA管内の中央部に位置しており、営農支援課（TAC）による出向く体制を整備し、相談機能を高めております。ご遠慮なくお問い合わせください。

【意見】現地検討会が集約化されたが、参加者が少なく、昔に比べて活気がなくなつたように感じる。

【回答】これまで65会場で開催してきましたが、生産者ならびに参加者の減少により、令和4年度は30会場で集約開催しております。他集落の生産者とも情報交換ができて満足とのご意見もあり、今後の開催会場については、改めて検討させていただきます。

【意見】農機の展示会や補助事業、更新のタイミンングなどの情報提供をしてほしい。

【回答】展示会開催時のDM発送に加え、TACと連携し、定期的訪問による情報提供を行って参ります。また、個々の生産者にあったご提案ができるよう取り組みます。

● アグリショップ宝達

【意見】クレジットカード決済に対応してほしい。

【回答】対応できるシステムへの更新に多額な費用がかかることから、店舗の活性化と合わせて慎重に検討して参ります。

【意見】JAポイントを導入してほしい。

【回答】現在は、JAポイントの即時付与は対応していませんが、後日付与をしております。広報誌12月号・店頭にてご案内済みです。

【意見】水稻肥料などの品揃えを充実させてほしい。

【回答】特に農繁期には、売れ筋商品（肥料・農薬）の陳列を行います。また、ご希望の商品がございましたら、職員にお申し付けください。

【意見】土日営業や営業時間の延長を検討してほしい。

【回答】宝達支店と隣接のため、営業時間等を同一の営業時間設定を行っており、休日については、JAグリーンはくいをご利用願います。今後、皆さまのご意見を伺い、

慎重に検討して参ります。

● JAグリーンはくい

【意見】産直は地域の特色が出る所。他店にはない特徴を出してほしい。

【回答】競合店舗が多数存在する中で、店舗の特色を色濃く出せるよう、新たな試みを専門スタッフと取り組んでおります。

【意見】家庭菜園の相談やアドバイスをしてくれる人がいたらいなと思つた。

【回答】現在、4〜10月の土日（午前中）のみ、相談員を配置しておりますが、今後は、年間を通じて配置できるように検討して参ります。

【意見】定期的な特売日やポイント5倍などのサービスを増やしてほしい。

【回答】サービスの頻度は増やしておりますが、店頭やSNS、広報誌にて幅広く周知して参ります。（①5の付く日は食品ポイント2倍、②8の付く日は店頭精米ポイント2倍、③月1回の新聞折り込みにて特売情報をご案内）

● 太田・R159給油所

【意見】お得に利用したい。

【回答】現金会員及びカードの種類ごとに多様な価格設定を行っております。また、各種キャンペーンを定期的に実施し、お得にご利用いただけるよう努めて参ります。

【意見】身体が不自由なので、セルフ式の計量機があれば助かります。

【回答】どうしても給油できないと判断される場合は、スタッフにて給油のお手伝いを致しますので、遠慮せずお声掛けください。

● 職員教育について

【意見】若い職員をしっかりと育成してほしい。

【回答】仕事に誇りや価値を感じ、自発的に頑張ろうとする労働意欲を引き出せるよう、一定の責任を持たせて頑張ってもらっています。また、担当業務の法令対応や技能向上のため、資格・免許等の取得を通じて自己研鑽に努めています。今後も、将来のJAを担う若手の育成に注力いたします。

自然栽培を羽咋で学んでみませんか？ のと里山農業塾第10期生募集中！

この度、のと里山農業塾(はくい式自然栽培米・野菜づくり)の第10期生を募集します。詳細は以下の通りです。ご応募お待ちしております。

- 【塾期間】 令和5年4月～令和6年3月
- 【対象】 自然栽培に興味・関心のある方
- 【年会費】 66,000円(税込) 年間12回～
- 【申込締切】 令和5年2月末
- 【お問合せ・お申込み】 JAはくいのと里山農業塾事務局 ☎29-3122



のと里山農業塾 池上さん 農業塾で学べること

昨年4月に大阪から羽咋市に移住した池上健太郎さんは、のと里山農業塾の9期生として自然栽培を学びながら、塾の圃場管理を任されています。これまでに50品目を栽培してきました。

池上さんは移住前、IT企業でプログラマーとしてシステム開発を行っていましたが、「奇跡のリンゴ」で知られる木村秋則さんの本を読んで感動し、土壌などのデータから、AIが適した栽培方法を教えてくれるアプリの開発を目標に移住を決意しました。「だれでも自然栽培をできるのが夢。自然栽培を広めたい」と意気込みます。

池上さんは「農業塾は栽培のコツや最先端の土壌改良の方法を学べる場所。是非、みなさんも一緒に自然栽培を学んでみませんか？」と話します。



アプリの開発を目標に自然栽培を学ぶ
第9期生の池上健太郎さん

たんぽぽ通信



立派な門松飾れました

【多機能ホームJAたんぽぽ】



手作りお節でお祝いました



福笑いで初笑い

お正月

たんぽぽ神社



皆さまにとって幸せな一年になりますように♡

【JAたんぽぽデイサービスセンター】



昔懐かしいすごろくをして楽しみました。

すごろく



今年の抱負、願いを込めて書き上げました。

書初め



若者に負けてられないシルバース。美しさ今も昔も変わらない。

成人の日ふたたび

成人の日ふたたび

今年も♡



姉妹仲良く、ハイ！チーズ

福祉部門の職員を大募集しています！

「あなたの力」で、みんなを笑顔にしてみませんか！

『介護職』『看護師』『ケアマネジャー』

【お問い合わせ】 多機能ホームJAたんぽぽ ☎29-2880

節分の色紙制作



鬼は外、福は内！邪気を払い元気に過ごすことができますように。

ポイントの利用方法(2つ)

JAグリーンはくいでのお買い物時にレジにて直接利用できます
(1ポイントから利用可能)

お買い物時にレジにてポイントカードをご提示ください。保有ポイントをお知らせします。



ポイントカタログ商品に交換する

たまったポイントの範囲内で、カタログに掲載されている商品と交換できます。支店窓口などでお申込みください。2週間ほどでお手元に商品が届きます。

ポイントカタログはHPまたは、こちらのQRコードからご確認ください。



JAはくいを利用するとポイントが付与されます

- JAグリーンはくい・アグリショップ宝達でのお買い物
 - 米出荷・青果物出荷
 - 貯金・ローン・共済のお取引
 - JA-S Sのご利用*
 - 農薬・肥料などのご購入
 - 給与振込・年金振込
 - 自動車のご購入・車検
- *JA-SSのご利用は、未収金(掛売)が対象となります。

ポイントの付与率について



ポイントの付与率について、HPまたは左記のQRコードを読み取ることをご確認いただけます。

【お問合せ・会員申込】各支店・企画管理課 ☎26-3301

ポイント利用期限に

ご注意ください

令和3年4月1日から令和4年3月31日の期間に付与されたポイントは、令和5年3月末に失効となります。いま一度、ご確認ください。

ポイントの利用については、「JAグリーンはくい」のレジにてお買い物時にポイントカードをご提示いただくことで、1ポイント(1円)から直接ポイントをご利用できます。また、ポイントカタログ商品との交換も、従来通りご利用いただけます。ぜひ、ご活用ください。

日頃はJAはくいポイントサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。ポイント利用についてご案内します。

JAはくいポイントサービスのポイント利用にかかるお知らせ



一体型JAカード

単体型JAカード

ポイント専用カード

理事会だより

第9回理事会

1月30日(月) 本店 大会議室

<議案>

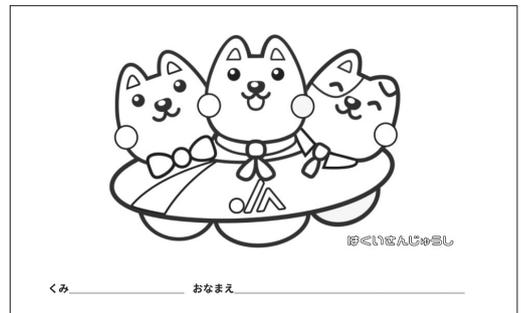
- (1) 第25年度(令和4年度)上半期にかかる監事監査の回答について
- (2) 信用事業窓口端末等の更改について

<報告>

- (1) 組合員の加入及び脱退について
- (2) 令和4年度(10月~12月)自店検査報告について
- (3) 余裕金運用状況報告について
- (4) 令和4年度第4四半期(1月~3月)の運用方針について
- (5) 令和4年度第3四半期コンプライアンスプログラムの取り組み状況について
- (6) 令和4年度第3四半期相談・意見・不満等受付状況について
- (7) 令和4年度第3四半期事務ミス等の発生状況について
- (8) 令和4年度第3四半期反社会的勢力等との取引排除及び組織犯罪等の防止にかかる対応状況について
- (9) 実績報告等(金融・共済部門)
- (10) 実績報告等(営農部門)について
- (11) 実績報告等(経済部門)について
- (12) 実績報告等(福祉部門)について
- (13) 実績報告等(総務部門)について
- (14) ㈱JAサービス営業報告について
- (15) ㈱JAアグリはくい営業報告について

JAグリーンはくい
園児の作品(ぬりえ)展示!!

2月中旬~3月中旬まで、羽咋市と宝達志水町と園児の作品(当JAオリジナルキャラクター『はくい三銃士』のぬりえ)を展示します。ぜひ、お越しください♪



編集後記 2月号をご覧いただきありがとうございます。1月末から雪が続き、路面が凍結したりと車の運転がしにくかったことと思います。私も事故を起こさないように超安全運転で走行していました。皆さまも、雪や温度の低い日の運転には十分に気を付けてください。大人になるにつれて雪があまり降らないように願うようになりました…(笑)でも、温泉や雪景色、スノボは好きなので、やっぱり冬は欠かせませんね。(広報担当:花村)

まちがい探し

今回の賞品



神宝天女(焼酎)
(抽選で5名様)

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。見つけてスッキリ！
間違っている部分を下のイラストの中の数字でお書きください。



先月号(1月号)の答え

- 1 ... 木の上の雪が多い
- 4 ... 眉の形が違う
- 6 ... コップの形が変わっている
- 7 ... ろうそくの溶け方が違う
- 12 ... かごから落ちたリンゴがミカンになっている。

応募方法

ハガキに ①答え(5カ所の番号) ②住所・氏名・年齢・職業・電話番号 ③ご意見・ご感想・身近な話題などを添えてご応募下さい。

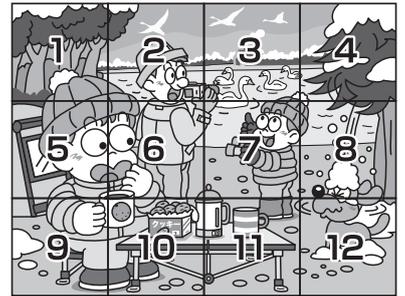
- 宛 先 / 〒925-8588 羽咋市太田町と105 JAはくい本店 広報担当
- 応募締切 / 2月28日(火) 当日消印有効

☆郵送または、最寄りの支店にご持参ください。

※ご応募いただいたお客様の情報は、抽選及び発送の目的以外には利用いたしません。
※ご意見やイラストは誌面で紹介する場合がございます。

1月号のご応募ありがとうございました。(応募42通)

蓮野 正彦 様 小嶋 好子 様 山口 高子 様 村井 清明 様 三浦 渚 様



シソ

さまざまな用途を楽しむ

あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

園芸研究家
成松 次郎

青シソの若葉は大葉と呼ばれる薬味や精進揚げに、赤シソの葉は梅漬けに利用されます。シソの発芽適温は20〜25度、生育適温は20〜23度で、低温には弱いが高温には強い野菜です。また、シソは短日期(昼の時間が夜の時間より短い季節)に花を付ける性質があり、9月ごろから穂が出てきます。シソは生育に応じて収穫方法が変わり、子葉、若葉、花穂、未熟果はそれぞれ芽シソ、大葉、穂シソ、実シソと呼んでいます。これを、シソの七変化といいます。

「栽培時期」中間地では4、5月が種まきの適期で、収穫期は6〜10月です。

「品種」大葉の品種は、葉色が鮮緑色で広卵形をして大きく、葉縁の欠刻が深く、葉面に細かい縮みがある「青しそ」「青ちりめん」があります。赤シソの葉取り用は「赤ちりめん」など葉色が赤紫色で葉形の大きい品種を用います。

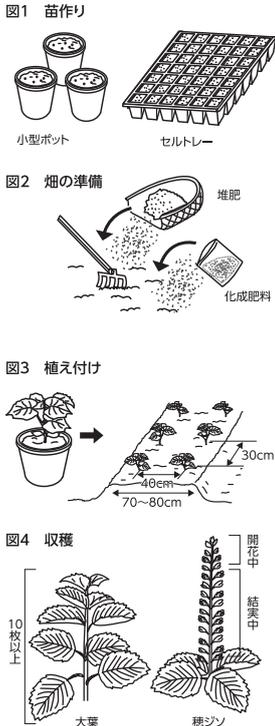
「苗作り」直径7.5〜9cmの小型ポリポットに4、5粒の種をまきます。セルトレーでは72穴のトレーを使い、2、3粒まきます(図1)。発芽後2回に分けて間引き、1回目は本葉が開く頃に、成長の遅れた株、密になっている所の株を抜き取ります。2回目は本葉3枚の頃に1本にします。

「畑の準備」幅70〜80cm幅のベッド(栽培床)で栽培する場合には、事前に1平方m当たり苦土石灰150gを菜園全体に散布して耕しておきます。その後、堆肥2kgと化成肥料(NPK各成分10%)200gを施します(図2)。「植え付け・追肥」本葉5、6枚になったら、条間40cm、株間30cmに植え付けます(図3)。その後2週間おきに1平方m当たり30g程度の化成肥料を条間にまき、根元に軽く土寄せします。

「病害虫の防除」病気はほとんどありませんが、害虫ではハダニ、ハスモンヨトウなどがあり、アファーム乳剤などの登録農薬で防除をします。

「収穫」葉が10枚以上になってから、下の方の葉の付け根からもぎ取るように摘み取りしておきましょう。穂シソの収穫期は先端の花穂が5、6輪開花している頃に穂先から15〜20cmで切り取ります(図4)。赤シソは紫、青シソには白い花が付きます。

※関東南部以西の平たん地を基準とする。



栽培カレンダー

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11
冷涼地			●	▲	▲	▲	▲	▲	▲
中間地		●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
暖地	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

●種まき - - - 苗作り ▲植え付け — 生育 ■収穫

西北台小学校



はくい三銃士
クロー

5年生児童から、稲刈り体験のお礼のメッセージハガキが届いたよ！
ありがとう♪



年賀状



JAはくいに年賀状が届いたよ。ぼくたちのイラストだ〜♪
とっても嬉しい！
ありがとう

JAはくい企業説明会

令和6年3月卒業予定者対象

JAはくいは、この地域がもっと盛り上がるよう、地域の皆様が快適に暮らせるよう、営農販売・信用・共済・購買・福祉事業を展開しています。皆さまのご応募お待ちしております！

- 日時：3月13日(月)・27日(月)・4月10日(月) 14:00～
- 会場：JAはくい本店 大会議室 (羽咋市太田町と105)
- 応募方法：『マイナビ2024』からご応募ください。

※3月1日から応募可能
※説明会の詳細や選考内容につきましては、3月1日から掲載されるマイナビ2024をご確認ください。

【お問合せ先】総務人事課 ☎26-3331



(宝達支店)

JAの自動車共済はお得な 掛金割引をご用意!



JA共済オリジナル

「自賠責共済セット割引」

(自動車共済 + 自賠責共済)

対人賠償の共済掛金
7%割引

JA共済オリジナル

「農業用貨物車割引」

共済掛金
10%割引

「複数契約割引」

共済掛金

5%割引

「自動継続割引」

共済掛金

2%割引

「長期優良契約割引」

共済掛金

2~6%割引

※このほかにも「ASV割引」「新車割引」などがあります。※割引の適用には所定の条件があります。

JAって選択、ありでしょ?!

JA 自動車共済

検索

自動車共済。JAで見積ると見直せる・当たる・得をする。



JAの自動車共済
お見積りキャンペーン

史上最多!

抽選で
総計

13,500 名様



スマートフォン等は
こちらから

【お問合せ】 共済課 ☎26-3535 羽咋支店 ☎26-0008 宝達支店 ☎29-3133